

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	新型コロナウイルス検出用マイクロ流路チップの開発		
1. 研究の目的と方法	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、SARS-CoV-2 というウイルスの感染による疾患です。この SARS-CoV-2 を対象に、迅速簡便なウイルス遺伝子検出のためのマイクロ流路チップ（※）の開発をおこないます。（※マイクロ流路チップとは、数センチメートル四方のチップ上に微小な流路を作ったものです。この小さな流路で、遺伝子や試薬などを混合し、反応させます。検体や試薬がごく微量で済み、特別な手技などが不要になるのが利点です）		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	本学附属病院に入院した、もしくは受診した患者さんで、2020年4月1日～2020年12月16日の間に、新型コロナウイルス感染症の診断目的で SARS-CoV-2 の RT-qPCR 検査を受けた 20 歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	鼻腔スワブ試料等から抽出された RNA（再検査および再評価目的で保管されている余剰試料）	
	(2) 試料の取得の方法	通常検査の際の余った試料（RNA）をいただきます。	
	(3) 情報の種類	検査結果	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 熱帯医学講座
		氏名	嘉糠洋陸
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始日：2021年2月頃～		
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 熱帯医学講座 研究責任者：教授 嘉糠 洋陸（かぬか ひろたか） 窓口担当者：講師 青沼 宏佳（あおぬま ひろか）		

	電話番号：03-3433-1111（内線：2286）
--	----------------------------

	対応時間：平日 09：00 ～ 16：00
--	-----------------------

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。